

鬼になったら英語で自己紹介！

## 新入生も多数参加、国際村の対面イベント開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、学内で留学生や多国籍のスタッフと共に外国語や文化を楽しく学ぶことができる国際村“Musashi Communication Village (MCV)”において、新入生懇親会、留学説明会をはじめとする様々なイベントを開催しています。新型コロナウイルスによる入国規制が緩和・撤廃され、海外留学が本格的に再開されつつある現在、多様なイベントやプログラムを用意し、学生のグローバル教育をサポートしています。

### ■ Cultural experience activity with Campus Mates

4月6日(木)、留学生のサポートを行うキャンパスメイトが主催のイベント「Cultural experience activity with Campus Mates」が開催されました。留学生に日本文化を体験してもらうと同時に、食文化を通じてコミュニケーションを図る目的で「たご焼き作り」を体験。「フルーツバスケット」等のゲームも行われ、鬼となった学生は英語で自己紹介を行い、お互いを知るきっかけになりました。参加したドイツからの留学生は「フルーツバスケットのゲームを初めて経験した。鬼になった人が自己紹介するルールが面白く、楽しむことができた」と語っています。コロナ禍では実現できなかった本格的なイベントの復活第一弾となりました。



ゲームを楽しむ留学生の様子

### ■ キャンパスメイト:森胡桃子さん(社会学部2年)のコメント

現在キャンパスメイトのスタッフは総勢90名ほどで、今年は多くの新入生が加入してくれました。久しぶりに対面でのイベントを開催することができ嬉しく、やりがいを感じました。これからもスタッフ皆で活発に意見を出し合い、より多くの学生が参加できるようなイベントを企画・開催できればと考えています。



キャンパスメイトによるたご焼き作り

※キャンパスメイトについては、こちらからご覧ください。

<https://www.musashi.ac.jp/education/global/domestic/campusmate.html>

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：[pubg-r@sec.musashi.ac.jp](mailto:pubg-r@sec.musashi.ac.jp)



2022年4月17日、武蔵学園は創立100周年を迎えました

■ **武蔵大学** 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1